

大学院教育学研究科

理念・目的

教育支援科学専攻

一人ひとりの子どもたちの教育を受ける権利を保障しその成長発達ニーズに応え支援する教育実践・教育制度を探究し新たな教育実践を構想する力の基盤となる、教育支援科学的調査研究法とそれを駆使した知見の開発の進展と教育を目指します。

教科教育専攻

教科の教育内容に関する専門的知識を深め教材とそのシーケンスおよび授業法について開発する力を育成するために、文化特性に応じて、各文化領域(言語文化、社会文化、科学文化、芸術文化、身体文化)における教育内容の核を構成する本質的知見および教材研究・授業法に関する基礎研究の進展とその教育を目指します。

教育実践創成専攻（教職大学院）

地域の学校の課題に即した学校改善・授業改善の構想力・実践力を育成するとともに、教育に関する高度の実践的専門性と教育実践を具体的な場でリードする力の育成を目指します。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

教育学研究科では、「教育実践に関わる学術諸分野と教育科学の統合的・学際的な教育・研究を行うことにより、現代の複雑化する教育諸問題に対処できる高度な識見と実践力を有し、併せて地域文化の向上に寄与できる専門的能力を備えた専門職の養成」を、研究科の教育目的としています。

このため、以下の専門知識・スキル等を身につけ、専攻ごとに示された要件を満たす学生に、次の学位を授与します。

- 教育支援科学専攻：修士（教育学）
- 教科教育専攻：修士（教育学）
- 教育実践創成専攻：修士（専門職）

《修了生が備えるべき専門知識・スキル》

○ 人や社会への関心

日本や世界の子どもおよび教育の、現状や諸課題に関する幅広い教養を身につけている。

○ 他者との協働

問題解決に向けて、他者の意見を理解しながら他者と協働して、課題に取り組める。

○ 教職への熱意

教育に関する情熱と使命感と倫理観をもち、教育活動に積極的かつ探究的な態度をもって取り組める。

○ 教職教養

学校教育の理念や意義などに関する専門的な知識や研究の技法を習得している。

○ 子ども理解

子どもたちの発達段階や意思等を探究的に分析し理解した上で、適切に接することができる。

○ 授業力・実践的技能

子ども理解に基づき指導計画を作成して、授業を適切に展開でき、自らの実践を分析・省察できる。

○ 教科等の専門教養

教科・領域や教育課程等に関する専門的な知識や研究の技法を習得している。

○ 持続的変態力

教師として学び続ける探求心と、教育的な諸課題を研究する技法を身につけている。

教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

教育支援科学専攻

教育支援科学専攻で実施される教育を支える理念は以下の通りです。

1. 一人ひとりの子どもたちの教育を受ける権利を保障しその成長発達ニーズに応え支援する教育実践・教育制度を探究すること。
2. 1のような新たな教育実践を構想する力の基盤となる，教育支援科学的調査研究法の教育とそれを駆使した知見のさらなる開発を導くこと。

この目的を達成するために，最新の教育的な知見を内容とする「人間形成の現代的課題」2単位を課程共通必修科目として配置するとともに，各専攻・コース毎の共通必修科目として，教育支援科学専攻においては教育学・教育心理学・特別支援教育学の分野を総合した「教育支援科学研究Ⅰ・Ⅱ」4単位を置き，少人数の利点を最大限に生かした手厚い指導を旨として，知見を深める専門諸科目を配置しています。

教科教育専攻

教科教育専攻で実施される教育を支える理念は以下の通りです。

1. 教科の教育内容に関する専門的知識を深め，教材や授業法について開発する力を育成すること。
2. 1の育成を確実なものにするために，各文化領域(言語文化，社会文化，科学文化，芸術文化，身体文化)における教育内容の核を構成する本質的知見を探究すること。
3. 各領域における教材研究・授業法に関する基礎研究の進展させること。

この目的を達成するために，最新の教育的な知見を内容とする「人間形成の現代的課題」2単位を課程共通必修科目として配置するとともに，各専攻・コース毎の共通必修科目として，教科教育専攻においては各コース(文化領域)での文化と教育に関する概論的科目4単位を置き，少人数の利点を最大限に生かした手厚い指導を旨として，知見を深める専門諸科目を配置しています。

教育実践創成専攻（教職大学院）

教育実践創成専攻(教職大学院の課程)で実施される教育を支える理念は以下の通りです。

1. 地域の学校の課題に即した学校改善・授業改善の構想力・実践力を育成すること。
2. 教育に関する高度の実践的専門性と教育実践を具体的な場でリードする力を育成すること。

この目的を達成するために，少人数の利点を最大限に生かした，以下の指導体制とカリキュラムを用意しています。

1. 高度の実践的視野を拓くために必須の知見を事例中心で身につける授業科目を基本的に必修科目として配置し複数教員による指導で実施します。
2. 地域の学校の課題に即して設定される各自の実習課題を「学校・授業改善プロジェクト」(実習)と位置づけ現職教員大学院生・学部卒大学院生および実務家教員・研究者教員が課題を共有し相互に検討しつつ一体となって取り組みます。そのために，山梨県教育委員会をはじめ各市・町教育委員会，および山梨県内の連携協力校との連携を強化しています。

入学者選抜方針（アドミッションポリシー）

教育問題に強い関心をもち、実践的な対応力と専門的な力量を身につけたいという意志をもち、地域・文化の向上に寄与したいという意欲とそれを支える確かな知識や技能等を有すること。

教育支援科学専攻

- ・学校教育に関わる諸問題についての理論的知識と実践的な基礎を有すること。
- ・生涯発達や生涯学習を視野に入れながら、教育の本質と本来的課題を探究しようとする意志を有すること。
- ・障害児教育を取り巻く社会的・現代的ニーズに強い関心を有すること。
- ・障害児教育をめぐる諸課題の解決のための具体的方策について理論的知見と基礎的技術を身につけようとする意志を有すること。

教科教育専攻

- ・教科教育および関連する各専門分野について理論的知識と実践的な基礎を有すること。
- ・教育の本質と各教科教育学の将来的課題を探究しようとする意志を有すること。

教育実践創成専攻（教職大学院）

- ・地域や学校において指導的・中核的な役割を果たし得るに不可欠な確かな教育指導理論と高度で優れた実践力・応用力を身につけたいという意志とそれを支える確かな知識や技能等を有すること。
- ・実践的な指導力・展開力を備える新しい学校づくりの有力な担い手として自ら積極的に取り組み、将来的にリーダーとしての役割を果たそうとする意欲を有すること。